



はじめに

男女共同参画・ジェンダー平等は、子どもたちの未来への責任と希望
子どもたちのつぶやき、にみるジェンダー平等の現在、

性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重されることを根底に置き、性別に対して権限、
機会、責任が平等・公正である事実上の平等（ジェンダー平等 gender equality）の達成を目指
す男女共同参画社会（gender-equal society）、そのキー概念は「ジェンダー」です。

人間には生まれつきの生物学的性別（sex-セックス）がある。一方、社会によって作りあ
げられた男性像・女性像があり、このような男性・女性の別を社会的・文化的に形成された
性別（gender-ジェンダー）という。内閣府男女共同参画局）

ジェンダーは、社会の中に見えないルール（規範）として潜在しており、集団や社会から期待
される性別に対応する態度・ふるまい・行動に答えようとしてきた私たちは、無意識のうち
にジェンダーを学習し、私たちの中に内面化されたジェンダーは、誰かから次の誰か・・・へ、
大人から子どもへと再生産されています。

男女共同参画・ジェンダー平等は、次の、その次の世代の子どもたちが生きる未来を見据え、
大人から子どもたちへと手渡していかなければならない大切な社会の価値です。

しかし・・・、私たちの日常の営みの中には、様々な「ジェンダーなこと、」があり、ジェンダー
による生きづらさや困難をかかえている人がいます。

このような「ジェンダーなこと、」は、子どもたちに、どのようにみえているのでしょうか。

この展示で紹介する12歳～17歳の子どもたちのつぶやき、にみられる、大人のことば
や行動への素直な疑問や不安など様々な思いは、ジェンダー平等で描く「未来、」からみえる、
私たちのジェンダー平等の「現在、」を照らし出しています。

あなたは、子どもたちのつぶやき、に、あなたの中のジェンダーに気づいてくれるでしょ
うか。家庭や職場、地域における「ジェンダーなこと、」に、どのような思いで立ち止まって
くれるでしょうか。

ジェンダーは、つくられたものだから、変えられる！

鹿児島県男女共同参画センターは、今年、開設20周年の節目を迎えました。次の20年へ・・・、
性別にかかわらずすべての子どもたちが自分らしく幸せに生きられるように・・・。
そんな願いを込めて、ジェンダー平等で描く「未来、」への歩みを続けていきたいと思ひます。

※子どもたちのつぶやき、は、この展示の制作にあたって、「かごしま女性政策研究会」のメンバーが、保護者のご協力を得て収集しました。